

【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】

2026年4月1日
公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員みなさんが意図せず宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場内（招集所出口からテーブル・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついていてもよいもの

- (1) 競技者等の氏名、所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク・ロゴマーク。
- (2) オリンピックや世界選手権等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 競技者の所属が所在する国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク・ロゴマーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) (1) の所属チーム以外の競技者登録規程に基づき競技者が登録した団体の名称・マーク・ロゴマーク
- (6) 所属チーム及び登録団体のスポンサー（所属スポンサー）の名称・マーク・ロゴマーク。
- (7) 競技者等のスポンサー（個人スポンサー）の名称・マーク・ロゴマーク。
- (8) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。その他アクセサリ類等については「競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」「競技者のマーケティング活動ガイドライン」を確認してください。

ロゴマークの種類／用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	スイムキャップについてよい大きさと数	バックについてよい大きさと数
上記の(1)～(4)	競泳は50cm ² 以内で1個。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
その他のロゴマーク等 上記の(5)(6)(7)	30cm ² 以内で1個。	40cm ² 以内で胸部、両袖山部分に3カ所。	20cm ² 以内で側面に1個。 (片側のみ)	表面積の10%以内かつ60cm ² 以内で1個。
メーカーのロゴマーク 上記の(8)	ロゴマークまたはマークは30cm ² 以内で1個。 (注1)	ロゴマークは40cm ² 以内で1個。 マークは20cm ² 以内であれば、数に制限はなし	ロゴマークは20cm ² 以内で前面に1個。	ロゴマークは表面積の10%以内かつ60cm ² 以内で1個。 マークは20cm ² 以内であれば数に制限はなし。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

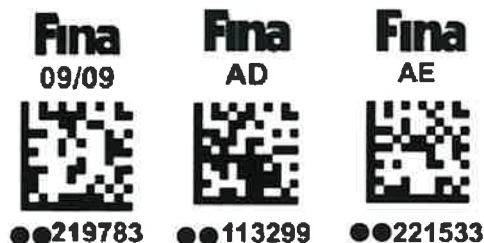
本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記のとおりです。

1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。

※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。

2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。

3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。



招集に必要なもの

1. ADカード
2. 招集カード
3. WA/FINAマーク付き水着の着用

どれか一つでも忘れた場合は招集を受けられません

招集カードの利用方法について

- ①招集には上記のものがが必要です。
- ②招集所では名前・チーム名での呼び出しは行わず「プログラムナンバー・組数」で案内します。自分の出場する組が呼ばれたら、招集員に招集カードを提示し、水着の確認(WA・FINAマーク)を受けてください。
- ③招集カードは、スタート台後ろにある回収ボックスに提出してください。レーンごとに分かれていますので、自分のレーン番号を確認してから投入してください。
- ※並ぶ場所がわからなくなった場合は招集カードを競技役員に見せてください。

○○○○○○水泳記録会 20XX/○/○		
氏 名	福岡 太郎	
所 属	博多SC	
種 目	男子50mバタフライ	
プログラムNo.	組	レーン
23	9	2

ウォーミングアップ時のレーン使用方法について

一般社団法人福岡県水泳連盟
競技運営委員会

朝のウォーミングアップ時、混雑状況によっては利用制限を設ける場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1. 練習は必ず引率・指導者の安全管理のもとに実施してください。
2. 下記図の通り、男女別に専用レーンを設定します。
3. 練習道具の使用は以下の通り設定します。
 - コンペティションプール・・・キックボード、ブルブイのみ使用可能です
 - アッププール・・・キックボード、ブルブイ、スノーケル、フィンのみ使用可能です
4. 飛び込みはコンペティションプール・アッププールの指定レーン以外は禁止です。
5. 水質保全のため練習を開始する前は必ずシャワーを浴びてください。また、スイミングキャップの着用にご協力ください。
6. レーンロープには乗らないでください。

コンペティションプール / 8:00～9:00



サブプール / 8:00～競技終了



- ・ダッシュレーンは1・10レーン、レーンの増設については、通告および電光表示板で案内を行います。
- ・ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止します。
- ・公式スタート練習は、行わないません。
- ・小休止中のコンペティションプールの使用可否ならびにレーン指定は通告および電光表示板で案内を行います。
- ・レーン使用法は当日の状況により変更する場合がございます。

2026年度 第58回九州ジュニア水泳競技大会

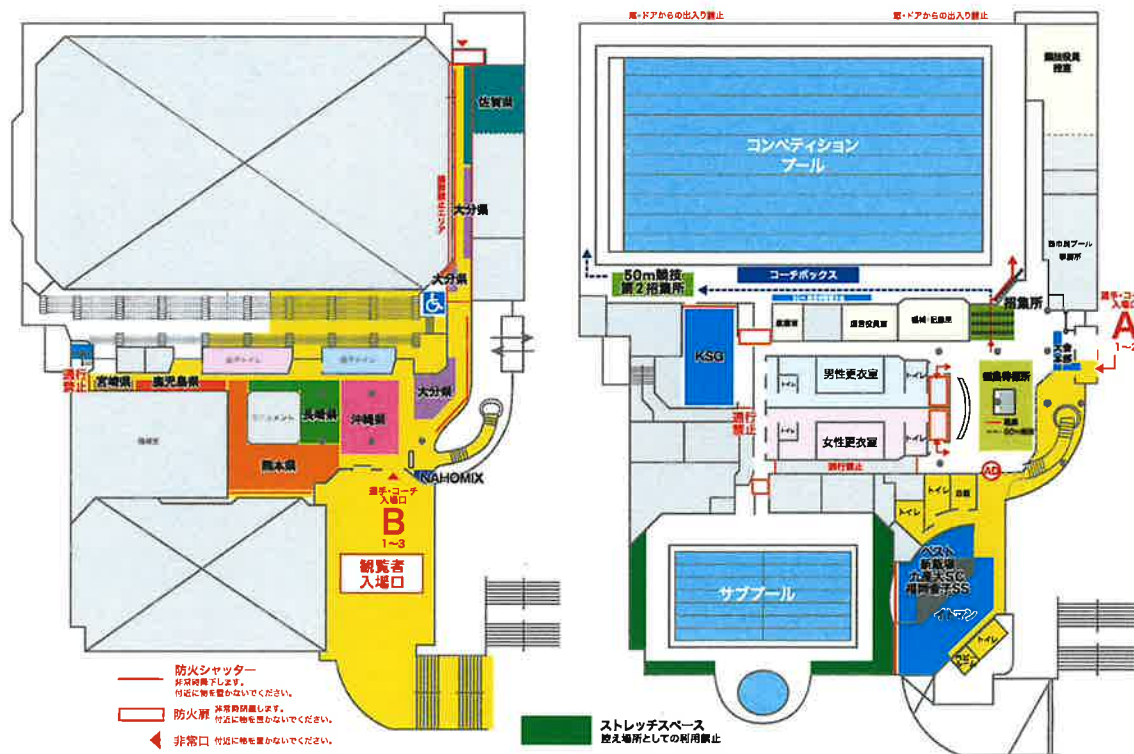
令和8年熊本地震の影響による開催地変更

2026年9月26日(土)-27日(日)

福岡市立総合西市民プール(50m)

会場図/選手控え場所

今大会の選手控え場所は県別の参加人数で割り振りを決定しています。各クラブ所属の県の控え場所をご利用ください。
※福岡県は、参加人数が多いためグループ校(クラブ)別に振り分けをしています。



ご入場につきまして

本大会入場時には必ず事前にチームへ配布したADカード/観覧入場チケットが必要となります。
選手入場時の混雑緩和の為、開場7:40~8:00まで入場口をA(1階)とB(2階)の2ヶ所に分けます。ADカードに記載の入場口よりご入場をお願いいたします。
なお、ご観覧の方につきましては、別紙『保護者入場についてのご案内』を必ずご確認ください、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

- 観覧チケットをお持ちの方は施設内での行動範囲を黄色の範囲内に制限させていただきます。
(敷物等での場所取りは禁止とします。)
- スタンド席の車いす使用者観覧席は車いす使用者が利用できる専用スペースです。
車いす使用者ならびに付添者以外の使用はご遠慮ください。(場内は敷物等での場所取りは禁止です。)

※会場図・控え場所等は変更になる場合があります。

競 技 順 序

No	性別	種 目	区分名	組数	時刻
【予選競技:1日目】					
1	女子	200m 個人メドレー	全区分	予選 7組	09:30
2	男子	200m 個人メドレー	全区分	予選 7組	09:53
3	女子	100m 自由形	全区分	予選 15組	10:15
4	男子	100m 自由形	全区分	予選 15組	10:39
5	女子	50m 平泳ぎ	全区分	予選 9組	11:02
6	男子	50m 平泳ぎ	全区分	予選 8組	11:13
7	女子	50m バタフライ	全区分	予選 8組	11:22
8	男子	50m バタフライ	全区分	予選 8組	11:31
9	女子	50m 背泳ぎ	全区分	予選 6組	11:39
10	男子	50m 背泳ぎ	全区分	予選 4組	11:47
11	女子	200m 平泳ぎ	13～15歳	予選 2組	11:53
12	男子	200m 平泳ぎ	13～15歳	予選 3組	12:00
13	女子	200m バタフライ	13～15歳	予選 1組	12:10
14	男子	200m バタフライ	13～15歳	予選 2組	12:14
15	女子	200m 背泳ぎ	13～15歳	予選 2組	12:21
16	男子	200m 背泳ぎ	13～15歳	予選 2組	12:28
予選競技終了予定					12:35
【決勝競技:1日目】					
17	女子	400m 自由形	13～15歳	T決勝 3組	13:00
18	男子	400m 自由形	13～15歳	T決勝 4組	13:18
(表 彰)					
19	女子	200m 個人メドレー	10歳以下	決勝	13:47
20	男子	200m 個人メドレー	10歳以下	決勝	13:51
21	女子	200m 個人メドレー	11～12歳	決勝	13:56
22	男子	200m 個人メドレー	11～12歳	決勝	14:00
23	女子	200m 個人メドレー	13～15歳	決勝	14:04
24	男子	200m 個人メドレー	13～15歳	決勝	14:08
(表 彰)					
25	女子	100m 自由形	10歳以下	決勝	14:24
26	男子	100m 自由形	10歳以下	決勝	14:26
27	女子	100m 自由形	11～12歳	決勝	14:29
28	男子	100m 自由形	11～12歳	決勝	14:32
29	女子	100m 自由形	13～15歳	決勝	14:34
30	男子	100m 自由形	13～15歳	決勝	14:37
(表 彰)					

競 技 順 序

No	性別	種 目	区分名	組数	時刻
31	女子	50m 平泳ぎ	10歳以下	決勝	14:51
32	男子	50m 平泳ぎ	10歳以下	決勝	14:53
33	女子	50m 平泳ぎ	11～12歳	決勝	14:55
34	男子	50m 平泳ぎ	11～12歳	決勝	14:58
35	女子	50m 平泳ぎ	13～15歳	決勝	15:00
36	男子	50m 平泳ぎ	13～15歳	決勝	15:02
(表 彰)					
37	女子	50m バタフライ	10歳以下	決勝	15:16
38	男子	50m バタフライ	10歳以下	決勝	15:18
39	女子	50m バタフライ	11～12歳	決勝	15:20
40	男子	50m バタフライ	11～12歳	決勝	15:22
41	女子	50m バタフライ	13～15歳	決勝	15:24
42	男子	50m バタフライ	13～15歳	決勝	15:26
(表 彰)					
43	女子	50m 背泳ぎ	10歳以下	決勝	15:40
44	男子	50m 背泳ぎ	10歳以下	決勝	15:43
45	女子	50m 背泳ぎ	11～12歳	決勝	15:45
46	男子	50m 背泳ぎ	11～12歳	決勝	15:48
47	女子	50m 背泳ぎ	13～15歳	決勝	15:50
48	男子	50m 背泳ぎ	13～15歳	決勝	15:53
(表 彰)					
49	女子	200m 平泳ぎ	13～15歳	決勝	16:07
50	男子	200m 平泳ぎ	13～15歳	決勝	16:12
51	女子	200m バタフライ	13～15歳	決勝	16:16
52	男子	200m バタフライ	13～15歳	決勝	16:20
53	女子	200m 背泳ぎ	13～15歳	決勝	16:23
54	男子	200m 背泳ぎ	13～15歳	決勝	16:28
(表 彰)					
55	女子	4×50m フリーリレー	10歳以下	T決勝 1組	16:44
56	男子	4×50m フリーリレー	10歳以下	T決勝 1組	16:48
57	女子	4×50m フリーリレー	11～12歳	T決勝 2組	16:53
58	男子	4×50m フリーリレー	11～12歳	T決勝 1組	17:01
59	女子	4×50m フリーリレー	13～15歳	T決勝 2組	17:05
60	男子	4×50m フリーリレー	13～15歳	T決勝 3組	17:13
(表 彰)					

1 日目競技終了予定 17:37

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。